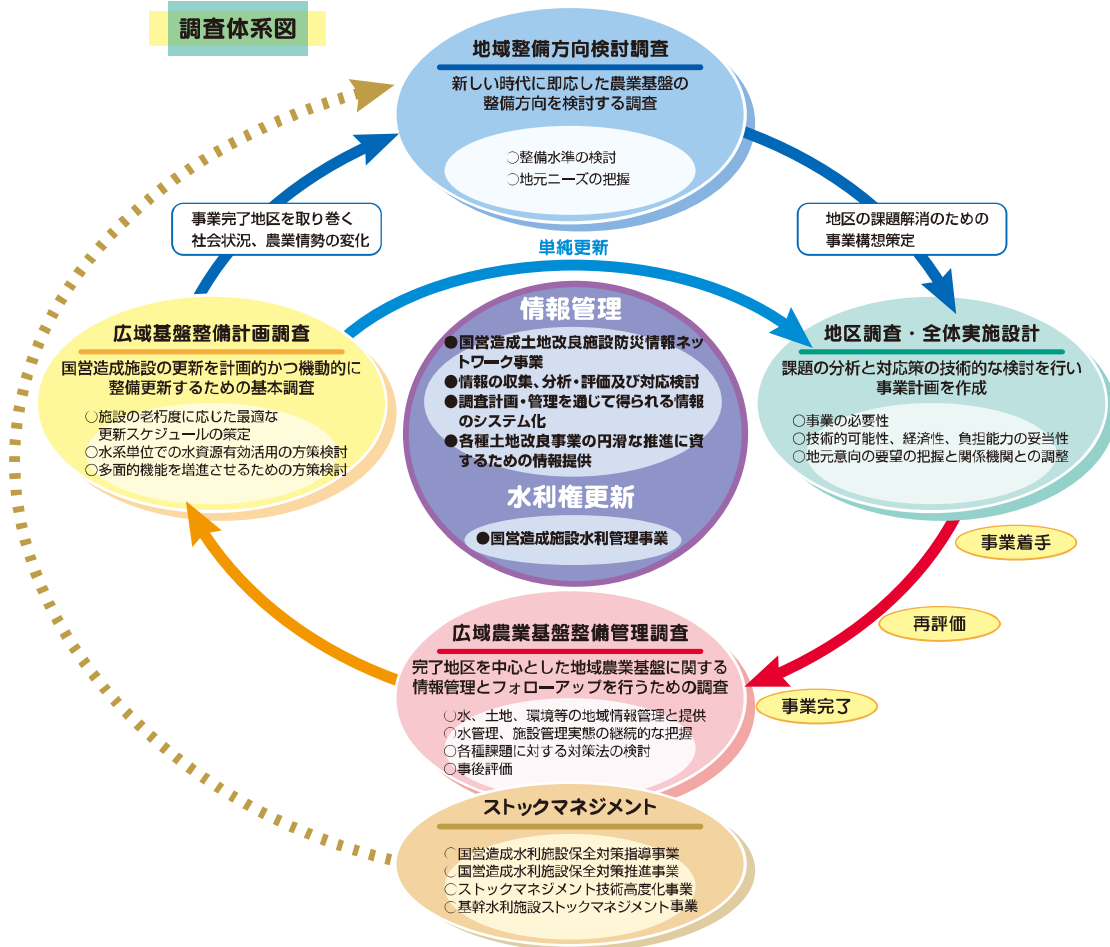


## 阿武隈土地改良調査管理事務所の沿革と概要

### 【沿革】

- 1970年4月** (昭和45年) 1969年5月に新全国総合開発計画で阿武隈地域が大規模畜産開発地域として選定されたことに基づき『阿武隈地域総合開発調査事務所』を開設
- 1975年4月** (昭和50年) 阿武隈川水系(名取川も含む)を対象に国土資源の有効利用及び土地改良事業の計画推進等を調査目的とする水系開発基本調査に着手
- 1989年5月** (平成元年) 全国の調査事務所の組織機構の改正により、『阿武隈土地改良調査管理事務所』に改称し、新たに羽鳥ダムの管理業務などを加え業務を拡充
- 2000年3月** (平成12年) 事務所を福島市八島町から現在の笹谷に移転

### 【概要】



## 平成 22 年度調査概要

### 1. 広域基盤整備計画調査

地域名(期間): 阿賀川地域(平成 22~24 年度)

主な内容: 地域の現状分析、長寿命化に配慮した更新整備計画の策定、農業水利再編調整組織整備構想の策定、水利計画の概定、総合機能強化計画の策定管理、環境・景観配慮基本方針の策定

### 2. 広域農業基盤整備管理調査

地域名(期間): 阿武隈地域(昭和 50 年度~)

主な内容: 地域の水利、環境等農業基盤に関する情報収集、水管理に必要な情報提供、国営完了地区の水管理・施設管理等の現状把握、課題の整理

#### 2-1) 完了地区フォローアップ調査(施設管理状況調査)

地区名(期間): 阿武隈川上流地区

主な内容: 西郷ダムの基準点測量を実施

#### 2-2) 事後評価調査

地区名(期間): 山元地区(平成 21~22 年度)、郡山東部地区(平成 22~23 年度)

主な内容: 事業効果の発現状況、整備された施設の管理状況、社会経済情勢の変化、事業実施による環境の変化、今後の課題等

### 3. 地域整備方向検討調査

①地区名(期間): 安積疏水二期地区(平成 19~22 年度)

主な内容: 受益面積調査、施設機能診断、施設整備計画策定、事業効果算定

②地区名(期間): 亘理二期地区(平成 22~24 年度)

主な内容: 受益面積調査、排水計画の策定、施設更新計画策定、事業効果算定

### 4. 国営造成水利施設保全対策指導事業

地区名(期間): 名取川地区(幹線用水路)、安積疏水地区(幹線用水路)、郡山東部地区(調整池、用水路、水管理施設)、会津北部地区(幹線用水路)、会津南部地区(幹線用水路)、白河矢吹地区(幹線用水路)

主な内容: 施設の長寿命化のための機能診断、施設管理者に対する指導等

### 5. 国営造成水利施設保全対策推進事業

地区名(期間): 会津南部地区(平成 22~23 年度)

主な内容: 地上権の設定に係る更新等

### 6. ストックマネジメント技術高度化事業

地区名(期間): 会津北部地区・会津宮川地区(平成 22 年度)、母畑地区(平成 22 年度)

主な内容: 破損事故等の要因調査、診断技術及び対策工法の適用と評価等

### 7. 国営造成施設水利管理事業

地区名(期間): 阿武隈川上流地区(平成 22~23 年度)、会津北部地区(平成 21~22 年度)、母畑地区(平成 22 年度)

主な内容: 水利使用基礎諸元調査、水収支計算等

### 8. 国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業

地区名(期間): 阿武隈川上流地区、会津北部地区、雄国山麓地区(平成 22 年度)

主な内容: 阿武隈水系(宮城県内)に係る設計、阿武隈水系(福島県内)及び阿賀川水系に係る機器導入

### 9. 全体実施設計

地区名(期間): 南貞山堰沿岸地区(平成 22 年度)

主な内容: 受益面積調査、施設基本設計、工事計画策定、事業効果算定

## 事後評価調査「山元地区」の結果が公表

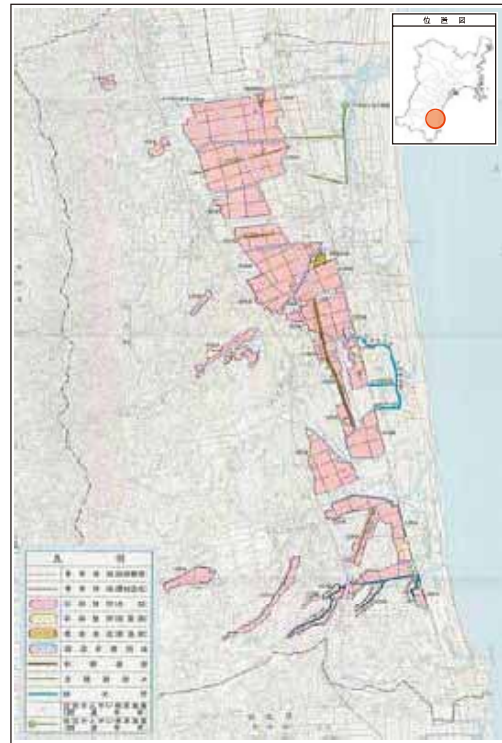
### 【調査の目的】

事後評価調査は農業農村整備事業等の効率性及び事業実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業完了からおおむね5年を経過した地区において事業実施による効用及び利用状況等の評価を行うものです。本地区では平成21年度より調査を実施しており、平成22年6～7月に技術検討会の審議を経て、平成22年8月に評価結果が公表されました。

### 【地区の概要】

本地域の農業は、経営規模が小さな上、分散した所有形態となっていることなど、生産性の低い農業経営を余儀なくされていました。そのため、区画整理と水田の地目変換による開畑を一体的に施行し、農地の集団化による効率的な土地利用並びに生産性の高い農業経営が可能な生産基盤を形成することを目的として、事業を実施しました。

- (1) 位置 : 宮城県南東部、太平洋沿岸に展開する標高2～40mの農業地帯
- (2) 関係市町村 : 宮城県亶理郡山元町
- (3) 受益面積 : 638ha
- (4) 受益戸数 : 980戸
- (5) 主要工事 : 区画整理632ha、農地造成6ha、排水路6.2km、幹線道路2.4km、支線道路74.8km



<山元地区概要図>

### 【事後評価の概要】

本地域では、事業により以下のような効果が発現しています。今後も事業効果を一層発現させるために、経営体の育成、担い手への農地利用集積、複合経営のさらなる進展等、各種取組の進展が望まれます。



受益地



観光農園（いちご狩り）

#### <事業効果>

- ①生産基盤整備による農業経営の規模拡大と合理化  
畑作物の作付拡大、水稲作の労働時間の節減及び大型機械の導入など
- ②生産団地化による高生産性農業の確立  
造成された普通畑で地域の特産品であるいちごの集団作付など
- ③土地利用の整序化による生産環境及び農村生活環境の改善  
創設非農用地の道路用地、共同利用施設用地等への利用など
- ④事業による波及的な効果  
観光農園において、いちご狩りを通じた都市と農村の交流  
事業を契機に設立された農産物直売所で地場産品の消費拡大など

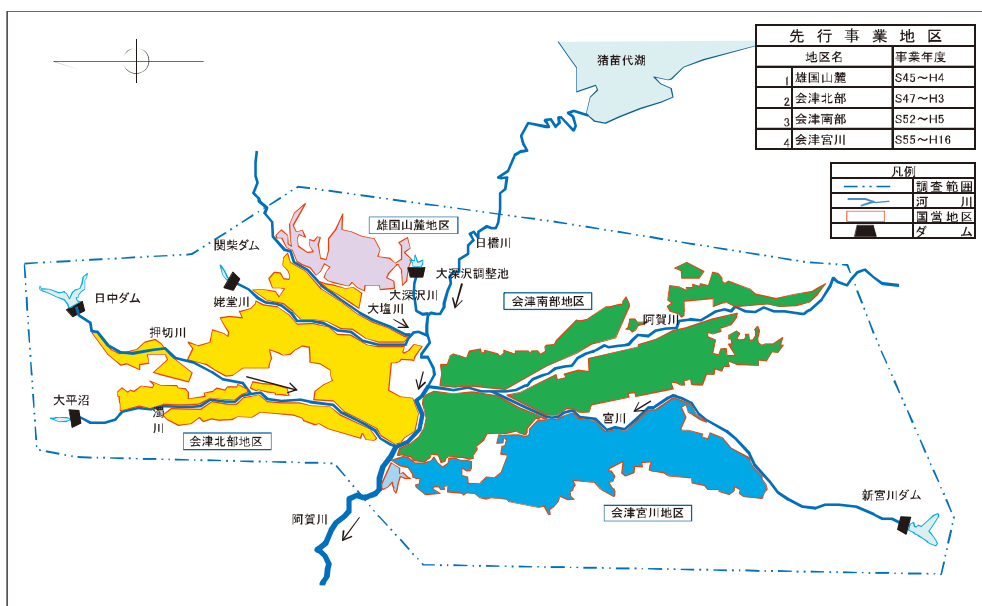
## 広域基盤整備計画調査「阿賀川地域」がスタート

### 【調査の目的】

大規模かつ優良な農業地域を将来にわたり適切に維持・存続させるためには、国営かんがい排水事業等により整備された基幹的農業水利施設の持続的な整備を図ることが重要となります。広域基盤整備計画調査では農業水利施設の水系や広域営農団地を単位とした一定の農業地域を対象とし、基幹的農業水利施設を計画的かつ機動的に整備更新するための計画策定を行います。

### 【地域の概要】

- (1) 位置 : 福島県会津地方の南部から新潟県へ貫流して日本海に注ぐ阿賀野川水系阿賀川により形成された地域
- (2) 関係市町村 : 福島県会津若松市、喜多方市、耶麻郡北塩原村、河沼郡会津坂下町、河沼郡湯川村、大沼郡会津美里町
- (3) 受益面積 : 13,307ha (水田 12,605ha 畑 702ha、H19 時点)
- (4) 受益戸数 : 13,280戸 (H19 時点)
- (5) 調査期間 : 平成22年度～平成24年度  
 <平成22年度の調査内容>  
 受益面積調査、施設機能診断調査、既存組織状況調査、  
 広域基盤確立推進協議会の設立
- (6) 対象施設 : 下図の国営4地区及び附帯県営3地区(会津北部地区、会津南部地区、会津宮川地区)の対象施設  
 (ダム5施設、頭首工19施設、揚水機場3施設、用水路165km、排水路33km)



<阿賀川地域概要図>